



会員
だより

新入会員ご紹介

株式会社ニッポンジーン

代表取締役社長 **米田 篤史**

この度、株式会社ニッポンジーンの日本試薬協会への入会をご承認いただきありがとうございました。会報紙面をお借りいたしまして、簡単に弊社の紹介をさせていただきます。

バイオでものづくり ～日本初のバイオベンチャー企業～

株式会社ニッポンジーンは、渡米していた米田祐康(現 代表取締役会長)が1982年に帰国と同時に創業した日本初のバイオベンチャー企業になります。当時、バイオテクノロジーという言葉も聞きなれず、国産の試薬がほとんどない時代に、日経新聞で弊社が「日本初のバイオベンチャー企業」として紹介されたことがあります、鳥嶺がましいですが、それ以降この言葉を活用させていただいております。なお、ニッポンジーンの名前の由来は、創業者である米田祐康の上司だった元アメリカ食品医薬品局(FDA)長官のフランク E・ヤング博士に命名していただいたもので、ジーンは英語の「遺伝子(gene)」に由来しています。

弊社は登記上、本社は東京にありますが、すべてのアクティビティは水と空気のきれいな北陸の富山県にあり、遺伝子工学用基礎研究用試薬として、制限酵素や修飾酵素、バッ

ファー類、核酸抽出キット、PCR・LAMP関連試薬、ゲノム編集関連試薬など、幅広く製造・販売させていただいております。

特に弊社は核酸抽出が得意で、弊社代表製品である「ISOGEN シリーズ」、日本マイクロバイオームコンソーシアムの標準法に採用された糞便からの核酸抽出キット「ISOSPIN Fecal DNA」、国の公定法に採用されている試薬やキットなど多くのラインアップがあります。

近年、CRISPR-Cas9をはじめとするゲノム編集技術が研究のトレンドで、世界中で多くの論文が掲載されています。一方、これらの技術の大半は海外で開発されたこともあり、医薬品などの製品に使用するとなると多くの権利問題が生じることがあります。この状況に対応すべく、弊社では東京大学医学研究所 先進動物ゲノム研究分野の真下知士教授、大阪大学微生物病研究所の竹田潤二招へい教授らの研究成果を基に開発された日本発のゲノム編集技術であるCRISPR-Cas3技術の開発にも参画させていただいており、その普及にも努めさせていただいております。

また最近では研究用途だけでなく、医薬品製造に使われる試薬・バッファー類の引き合いも増えてきており、その高い品質や要求を

満たすべく努力を重ねております。

基礎研究用試薬を供給することで大学や企業に訪問する機会を増やし、実際に弊社製品を使用しておられる方々のニーズを聞いて製

品の改良や開発を重ねつつ、またそこで新たなシーズになるものを見つけ、それを具現化(製品化)するお手伝いをすることが我々のビジネスモデルです。



会社全景

試薬から診断薬まで

弊社は遺伝子関連技術だけでなく、タンパク発現なども得意としており、1988年には抗原抗体反応を用いた体外診断用医薬品(妊娠・排卵検査薬)の開発・製造・販売を開始させていただいております。それ以降、検査薬事業はヒトだけでなく、動物・植物・地球(環境)とターゲットを広げさせていただき、イムノクロマト(サンドイッチ法、競合法)を用いたPOCTだけでなく、ELISA法、核酸増幅法(PCR法、LAMP法)などさまざまなプラットフォームで検査・診断薬をご提供させていただくことが可能になりました。

検査診断薬の例としては、食品工場などで使われる食物アレルゲン(卵・乳・小麦・そば・落花生・甲殻類・ナッツ類)の検査キットなどで食の安全に貢献しております。また26年ぶりに日本で再興した豚熱や、牛伝染

性リンパ腫、牛ヨーネ病の診断にも弊社の体外診断用医薬品が全国の家畜保険衛生所で使用されており、動物感染症の拡大防除にも一役買っております。

さらに文部科学省の「学校環境衛生基準」で、年1回の環境アレルゲンの定期検査が義務付けられており、生徒のいない夏休みに人知れず、全国の小・中学校で弊社が製造させていただいている検査キットが使用されております。

また、設備の整っていない海外の研究所や試験場だけでなく、国内のフィールドでも手軽に検査ができるような要望が現場サイドから多く聞かれ、検査キットに使われる試薬の乾燥化などにも力を入れております。

記憶に新しい新型コロナウイルス感染症の影響で、ワクチンや検査薬が脚光を浴びました。弊社もいつ何時訪れるかわからない感染症の脅威に対し、迅速に対応できるように常

日頃、情報収集を努めるとともに、その開発・製造のための社内体制も整備しております。

またこれから個別化医療のための検査・診断薬も、患者のQOLを上げる意味でもさらに需要が増えると言われております。これから世界に先駆けて超高齢化社会になっていく日本の社会で、健康寿命＝生涯寿命になるよう、医療の分野でも常に最先端の情報をしつかり集めて、信頼性の高い製品を提案できるようにしていけたらと考えております。

バイオの力で ヒト・動物・植物・地球(環境)の健康に貢献

最後になりましたが、新型コロナウイルスなどの感染症、年々暑くなる気候の変化に

よって生じる食物問題、ヒトの寿命が長寿化する中で生じる医療をはじめとするさまざまな問題など、世の中はかつてないほど急速に変化しております。弊社はこれらの問題を解決することができる可能性のあるバイオテクノロジーの技術向上、新技術の開発の促進を少しでも手助けするために信頼性の高い製品を開発・製造・供給することで、すべての研究者らを縁の下から支え、「ヒト・動物・植物・地球(環境)の健康」に貢献していきたいと考えております。

日本試薬協会の会員各位には、今後とも変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますとともに、弊社製品に対する一層のご愛顧を賜りますよう、謹んでお願い申しあげます。



製品